

第24回企画展

코리아의 자연사

— 대륙과 일본을 잇는 생물 —

코리아の自然史

—大陸と日本を結ぶ生きものたち—

2002年

3月16日(土)⇒6月16日(日)

3月16日(土)は午後1時から公開となります。

開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 (4月29日, 5月6日は開館, 翌日が休館)

記念イベント

●映像で見る코리아の自然

～貴重な自然映像と両国専門家によるトーク～

3月16日(土)午後1時30分～3時30分

●코리아の自然史は今～自然史研究の現状と課題～

6月16日(日)午前9時30分～午後5時

上記イベントは事前申込制です。詳細はお問い合わせください。

Natural History of Korea

— Connecting the Asian Continent and Japan —



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL.0297-38-2000

ホームページアドレス: <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

入館料: 大人 720円/高・大学生 440円/小・中学生 140円

協賛: 関影商事株式会社

SEKI/SHO

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

後援: 外務省・駐日韓国大使館文化院・ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

海外協力: 梨花女子大学校自然史博物館・慶星大学校鳥類館・智異山生態保存会・韓国鳥類保護協会・韓国野生動物連合 / 国内協力: 東京朝鮮学園朝鮮大学校

코리아의 자연사 一대륙과 일본을 잇는 생물一

3月16日(土)~6月16日(日)

日本初公開のほ乳類標本など約500点大公開!

◇ コリアの野生生物をこれまでにない規模で紹介 ◇



韓智異山国立公園ノゴダン峰からの展望

かつて、朝鮮半島と日本が陸でつながっていたことをご存じですか？
 朝鮮半島には、日本と共通する生きものも多く、その一方で、半島や大陸特有の種類も見られます。
 このような興味深い生きものたちが生活する朝鮮半島ですが、その自然や生きものを紹介する機会は今まであまりありませんでした。
 今回の企画展は、韓国内の大学・研究機関や、東京朝鮮学園朝鮮大学校などの協力により、半島の自然と生きもの、そして保護活動の取り組みなどを、これまでにない規模・内容で紹介します。
 この機会に、コリアの自然、そして生きものたちを実感してみたいはいかがでしょうか。

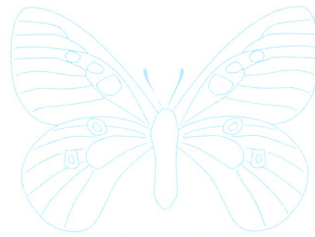
生きもの地図づくりにチャレンジ!

□□内に、動物スタンプを押したり、イラストに色をぬったりして、生きもの地図を完成させてみよう。

※動物スタンプは、企画展の中にあるよ!(さがしてみよう)



クロツラヘラサギ ©朝鮮大学校自然博物館



アカボシウスバシロチョウ
 半島北部からシベリアに分布するチョウ。
 日本にいるアゲハチョウの仲間、名前ははねの模様からつけられた。

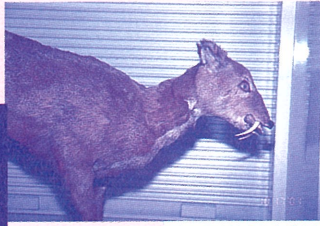


チョウセントラ
 現在、主に半島北東部の白頭山周辺にわずかに生息する希少種。絶滅が心配されている。

クロツラヘラサギ
 夏、主に北西海岸の岩壁などに、繁殖のため巣をつくる。現在、世界で数百羽程度しか生息確認されていない希少種。



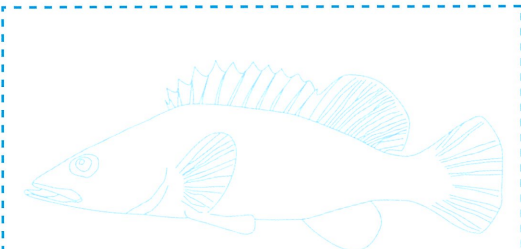
ノロ ©YAMAZAKI
 半島内陸(山地)に生息するシカの仲間。ニホンジカより角の枝分かれ数が多い。



ジャコウジカ ©梨花女子大学校自然史博物館
 山地の一部に生息する。オスが分泌する麝香(じゃこう)が香水の原料となることから捕獲され絶滅の危機に瀕している。

☆☆展示見どころ紹介☆☆

- 半島の大型野生動物はく製展示
 →ジャコウジカ、チョウセントラ、ノロ、キバノロ、アジアクロクマ(ツキノワグマ)、ヒョウ、オオヤマネコ、クロハゲワシ、チョウセンオオカミなど
- 半島と日本の生きもの比較展示
 →クマ、シカなどのほ乳類、貴重な北方系チョウなどの昆虫、鳥類、両生類、は虫類、植物



コウライケツギョ
 主に河川の中流域に生息する淡水魚。体のまだら模様が特徴で、主に小魚を食べる。



アジアクロクマ(ツキノワグマ)
 山地の広葉樹林内に生息する雑食性のクマ。食用(漢方など)として捕獲され、半島全域で減少している。



チョウセンズガエル
 溪谷や湖沼近くに生息する。怒ると、体を弓なりに反り、手足を上にとっくり返す。



ゴビズキンカモメ ©慶星大学校鳥類館
 釜山の沿岸に越冬のために飛来する希少種。ずきんをかぶったような頭部の模様が特徴。

- 入館料
 大人 720円(580円)/高・大学生 440円(300円)
 /小・中学生 140円(70円)
 ※未就学児・65歳以上の方・障害者手帳を所持の方は入館無料です。
 ※この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれます。
 ※()内は20名以上の団体料金です。
- 休館日
 毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館し、翌日休館)
- 無料入館日
 3月21日(木)、4月29日(月)、6月5日(水)
 4月13日(土)から毎週土曜日、高校生以下入館無料
- 交通案内
 ●車利用の場合
 ・常磐自動車道谷和原ICから20分
 ・古河方面から境町経由50分
 ・下館方面から下妻市経由1時間10分
 ・土浦方面から水海道市経由1時間
 ●鉄道・バス利用の場合
 ・東武野田線愛宕駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」に乗り→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
 ※詳細または不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。
 ※ペットおよび遊具などの持ち込みはご遠慮下さい。

<臨時休館のお知らせ>

6月24日(月)から29日(土) 6日間

館内整理のため臨時休館させていただきます。

次回企画展 第25回企画展

「時を超える生き物たち 一 生きていた化石のひみつ一」

平成14年7月13日(土)から9月29日(日)